

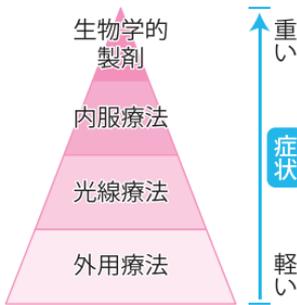
見た目もつらい乾癬

# 状態に応じた治療法の選択が大事

立川皮膚科クリニック

www.tachikawa-derma.com

## 乾癬の症状と治療法



赤い発疹が盛り上がり、かきぶたのように硬くなったり、ぼろぼろとフケのように剥がれ落ちたり…。繰り返し表われる難治性の慢性再発性炎症疾患「乾癬(かんせん)」について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

原因は？  
「乾癬は免疫システムが異常を引き起こす皮膚炎で、遺伝的要因に環境因子が加わることで悪化する」と考えられています。

治療法は？  
「症状を十分に観察し、たうでの正しい診断が第一歩。皮膚の状態、病変の範囲、重症度などに

応じていくつかの治療法があります。例えば、ビタミンD3誘導体やステロイドの外用薬、光線療法、免疫抑制などの内服薬による全身療法、さらに、生物学的製剤を用いた注射療法も行われています」

「2023年11月より、世界初の経口TYK2阻害薬(デュクラバシチニブ)が使えるようになりました。従来の治療薬では十分な効果がみられない、重症の乾癬患者さんの治療の選択肢が広がっています。乾癬の治療薬には色々な種類がありますが、その時々状態に応じて選択することが最も大事。上手に組み合わせることで効果を出すためにも、皮膚科専門医に相談して、最適な方法をみつ

けて下さる」

院長：伊東秀記  
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

問い合わせ  
TEL042-843-1377  
JR「立川」駅南口徒歩2分

2024年9月27日付「リビング多摩」に掲載されました